

たかはま アーカイブ



市では、これまで高浜が歩んできた歴史や人々の記憶を知り、市の有形・無形の資料を整理して後世へ伝えるとともに、今を生きる私たち、そして将来のまちづくりに活かしていくことを目的として、市民の皆さんの協力を得ながら、新たな「高浜市誌」の編さんを進めています。

タイトルにあるアーカイブとは「記録保管所」という意味です。このコーナーでは、編さん作業の中で掘り起こされた写真や資料などを中心に、まちのこれまでのあゆみや魅力・自慢などを紹介していきます。

「こんなことを知っている!!」「他にもこんなことがあったよ!」といった情報がありましたら、ぜひお寄せください。

高浜の港を見つめる眼鏡橋



▲絵はがき「三河高瀨風景 行者山ヨリ眼鏡橋望ム」に写る、かつての大山緑地西側（高浜市立郷土資料館蔵）※大正～昭和初期発行とみられる

[春日町]



大山緑地の西、明治用水が南北に走るエリアは、かつて瓦や土器などを出荷するための港がありました。大正時代から昭和初期に発行されたとみられる絵はがきには、かつてあった眼鏡橋や海岸の岩、高崖の粘土の露頭、船などが写っています。眼鏡橋の橋脚の間には水門があり、木の扉を閉めて、かつて橋の西側にあ

った発電所へ水を送るようになっていたということですが、人造石（土と石灰を混ぜ、水で練ってたたき固めたもの）という工法で作られた発電所の跡は「ドンドン」と呼ばれ、現在も残っています。また、橋の北側にはかつて共同の洗濯場があり、地元の皆さんが日常的に利用していたそうです。



▲明治29年に高浜村が作成した『配水地字限地図』（高浜市立郷土資料館蔵）にも眼鏡橋が描かれている。



▲現在の風景

問合せ先 いきいき 文化スポーツグループ ☎52-1111（内線330）

高浜を愛し、高浜の良さを学んで、高浜でたくましく生きる未来市民の育成

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月のめざす学習習慣を皆さんと共有します。

- 〈めざす年長児〉ともだちやみぢかなひととなかよくします。
- 〈めざす小6生〉友達や学校を大切に思い、役に立つことを進んで行います。
- 〈めざす中3生〉家庭や地域を大切に思い、役に立つことを進んで行います。

高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト

いきいき 教育センターグループ ☎52-1111（内線311）

9月
自分の
まちを大切に
する子

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

市公式ホームページでは、英語・中国語・韓国語・ポルトガル語の4か国への変換機能を利用できます。

早期配布にご協力ください。

ポルトガル語は
20ページ